

県内アーティストたちのプロジェクト

# 音楽で支援活動 一冊に

宇都宮の三上さん

## 広めたい復興への思い

【宇都宮】東日本大震災で被害を受けた福島県いわき市の海岸林再生を支援するため県内のアーティストたちが取り組む「木を植える音楽プロジェクト」を広めようと、中岡本町、フリーライター三上美保子さん（41）はこのほど、その活動内容をまとめた本「木を植える音楽」を出版した。約2年かけてまとめた三上さんは「復興に向けて活動している人の思いや音楽を言葉でつなげたい」と話している。

（多里まりな）



音楽家の活動内容を本にまとめた三上さん（右）と倉本さん



東日本大震災

同プロジェクトは2013年、西原3丁目でカフェ「2tree cafe」を営んでいた倉本祐樹さん（34）の呼び掛けで始動。同店でライブを開いた経験のある11組が「未来」、「自然」をテーマに手掛けた曲をアルバムにし、CD1枚を売り上げるたびクロマツの苗木10本分の資金をNP

〇法人トチギ未来基地（塚本竜也理事長）に寄付している。

本の出版は、同プロジェクトに賛同した三上さんと、水戸市のデザイン会社「ゆたり」が運営する出版社「ゆたり出版」が企画した。三上さんは11組が曲に込めた思いなどをインタビューや座談会形式で取材。同出版社の

サイトで連載した記事などを一冊にまとめている。

三上さんは「震災以降、

自分に何かできることはないかと無力感を覚えることがあったが、被災地になくてもできることがあると感じた」と思いを語る。

倉本さんは、本の出版を同プロジェクトのリスタートと位置付け、「木の成長

を見守りながら、ゆっくり復興支援を続けていきたい」と話している。

四六判変形。144頁。1200円（税抜き）。問同社029・241・9216。

10月20日(金)

下野新聞